

令和元年度東海村芸術祭実施さる



ギャラリー2F

第31回東海村芸術祭が、令和に元号が替わって早々の5月12日～6月23日にかけて実施されました。絵画彫刻展(第95回東海美術連盟展)については、6月2日(日)～8日(土)東海ステーションギャラリーで展示されました。今年の絵画彫刻展の出品者数は63名、参加率81%で例年とほぼ同様、作品の構成は絵画56点、彫刻7点

事務局長 堀川 豊彦

でした。一方、絵画の総点数は1,429号と近年で最小となりました。美術連盟40周年記念展を兼ねた平成27年をピークに、絵画作品は小型化の一途です。残念なことです。作品を搬入・搬出する労力を負担に感じる方が増えてきているのが実情かも知れません。今後、お互いに助け合いながら芸術祭、さらには文化祭等に長く参加して頂けるように、事務局としても考えていきたいと思ひます。小型化傾向はさておき、作品のグレードは年毎にアップしているように感じられます。特に人物コスチューム画が増えており、展示に際して作品の配置に苦勞するほどです。会員の皆様の人物画制作への意欲が感じ取れますが、風景や静物さらには裸婦、抽象画など創作のテーマは多岐に渡っておりますので、色々取り組んで頂ければ幸ひと思ひます。

裸婦デッサン会を終えて

南支部理事 栗原 豊

今年の裸婦デッサン会は文化センター大会議室で7月27、28日の両日、延べ54名の参加者の下実施することができました。皆さんのご協力により、有意義かつ楽しいデッサン会になったと思っております。デッサンが始まると集中するあまり時間が過ぎるのを忘れ、規定の時刻を過ぎても、描くのをやめない人がいるのはいつもの風景でしょうか。こういう時間を持てるのも絵描きである我々の幸せなことなのかと思ひます。



今回のデッサンが作品となり、発表されることを期待しております。



午後からは目がショボショボです



南支部 佐藤 光保さんに Tea タイム

- Q 絵を描こうと思ったきっかけは何ですか？
- A 定年を機会に絵でもと考えていた時期に、中丸コミセンを会場とする油絵体験の公募がありその講座に参加したのが始まりです。
- Q どんな状況で絵を描き始めましたか？
- A 教室の先生に誘われ、絵画教室に約10年通いました。しかし旧態依然として上達せず、絵心のなさを痛感しています。
- Q 絵を描いている今の環境は、いかがですか？
- A 絵画同好会で主に人物、静物画を毎月描いています。描いているときの充実感がすばらしいと思っています。大変貴重な時間です。しかし修正の繰り返しで思うようには行きません。
- Q 絵についてのこれからの目標とかありましたら、どうぞ。
- A 今まで通り絵の仲間と楽しく描き続け、幅広い交流ができればと思っています。

近々展覧会がありましたら告知を。
10月13日から19日まで、東海絵画同好会が東海ステーションギャラリーAで行いますので、皆様どうぞご覧ください。



絵画同好会で人物画を制作中

Information

合評会	9月1日 (仲支部)	中央公民館第1会議室	【会員】
アートロード研修会	9月3日 (群馬方面)	スバル工場見学 美術館他	【会員・非会員】
第55回日立市美術展覧会	9月7日～9月15日	日立市シビックセンター/マールホール	【公募】
第65回一陽会	10月2日～10月14日	国立新美術館	【北沢他】
高橋忠治絵画展	10月6日～10月12日	東海ステーションギャラリーA	【高橋】
第28回東海絵画同好会展	10月13日～10月19日	東海ステーションギャラリーA	【阿部他】
茨城県芸術祭(県展)	11月9日～11月24日	近代美術館他	【公募】
東海村文化祭	11月2日～4日	総合体育館	【会員・非会員】
日帰りスケッチ	11月予定(北支部担当)	場所 未定	【会員】

彫刻展見学会

彫刻家中村義孝教授の退官記念展の見学会に参加して

彫刻支部 鈴木 澄枝

梅雨が明けた途端猛暑が続き、体調を整えるのに大変な日々でした。そのような折り、彫刻家中村義孝先生の筑波大学教授退官記念展の見学会とのこと、是が非でも参加させていただきたいと思っておりました。

中村先生には毎年の事ながら、茨城文化団体主催の夏期講習会ではご指導をいただいております。先生は人間の骨格や筋肉の心髄まで丁寧に説明されながら、大胆に粘土を付けられます。いつも心の中で感嘆です。

そして展示会場での解説も、作品の陳列が物語になっていて、中村先生の心の思いに大変納得し感動いたしました次第です。

そして役員の方々のご努力とすばらしい企画に感謝いたしております。ありがとうございました。



作品に寄せる思いを話される中村先生を囲んで

夏休み子ども作品教室の指導にあたって

事務局 堀 千恵子

文化協会主催の子ども作品教室は8月3日に文化センター大会議室で行われた。参加児童は1年生から6年生までの80名で、午前の部40名、午後40名であった。美術連盟から15名の指導員が派遣され、夏休み課題作品の指導にあたった。指導員一人につき、児童は2人から4人受け持ちました。毎年どのような児童が来られるのか、内心おだやかではありません。というもなかには、なにを聞いてもダンマリを決め込む子どもさんが必ずいるからです。これは指導以前の問題。課題作品もいっこうに決まらず、こちらは決められた時間内にできあがるかヒヤヒヤです。時間がないので、つい見栄えがする効果的な方法を言ってしまう。これで良いのか？本来ならば時間をかけて、子どもたちが自分で答えを見つけて欲しい。答えが見つかった時の嬉しさは格別なんだけどな。

画面の大きなところは、できるだけ大きな筆、ほんとは刷毛のようなものが欲しいんだけど。あいに

く教材の絵の具箱には平筆はないのですね。色は少し混ぜて使いましょとか、こういう方法もあるわよとか、こちらは引き出し全開です。功を奏してうまくいけば、指導員も少しは来た甲斐がありホッとします。絵が苦手だという子ども。良いところは多いにほめてあげて、少しでも絵に関心を持ってもらえたらと切に思う。短時間で完成度の高い作品を描いてもらう、熱い一日でした。

おいそうな
ご飯が描けたね!



公募展だより

第51回水戸市芸術祭(5.26~6.7) 水戸芸術館 現代美術ギャラリー



洋画部奨励賞
七変化II 柴 量子



彫刻部奨励賞
陽(あかり) 鈴木 しのぶ



ハイ、ポーズ 鈴木 綾子



涼 奥野 光江



早春の上高地 仲田 和子



壮麗 木村 佳代子



古跡 鴨志田 範夫

第91回新構造展(6.23~6.30)
東京都美術館



雪解け近し 番場 正男

新会員です。よろしくお願ひします。



南支部
安 久 則

社会に出て独学で始めてすぐ挫折し45年。定年で一年発起し一昨年よりNHK文化センター油絵教室に通っております。ひとりよりはと思ひ今回お仲間に加えていただきました。「絵は自分の分身ある」を胸に日々格闘しております。どうぞよろしくお願ひ致します。